

2022年3月7日

第5回国際ロッククライミング研究学会大会
5th International Rock Climbing Research Congress
実施報告書

文学部専任教授 水村 信二

以下の要領にて標題学会大会を実施したので報告する。

学会大会名：第5回国際ロッククライミング研究学会大会

5th International Rock Climbing Research Congress

開催日程：2021年11月11日(木)～14日(日)

開催形式：オンライン（対面参加なし）

<https://www.ircra2020tokyo.com>

参加者数：90名（招待講演者、本部役員含む、表1参照）

（ヨーロッパ43名、南北アメリカ23名、アジア21名、アフリカ2名、オセアニア1名）

採択演題：本学会大会では、一般発表におけるクライミング研究を、バイオメカニクス、医学、運動制御、生理学、心理学、社会学、トレーニングと競技、歴史と文化の8分野に分類した。提出された50演題は8名の科学委員会委員によって審査された。その結果、10演題がリジェクトされ、40演題が採択された。リジェクト率20%は過去4回の学会大会と比べてかなりの効率であった。また、学会大会直前に採択された演題のうち1演題が発表者都合により取り下げられた。したがって、最終的に39演題（ライブ発表29演題、ビデオ発表10演題）の一般発表が本学会大会にて発表された。

大会本部：以下の経緯から新宿のホテル（ヒルトン東京）に大会本部を構えた。

1. 学外に本部を設置した理由

参加者の半数近くをヨーロッパ在住者が占めた。加えて、4分の1弱が南北アメリカとアジア（大多数が日本）からの参加となった。そこで、ヨーロッパ、南北アメリカ、そして日本の時差を勘案し、ヨーロッパの午後、南北アメリカの早朝、日本の夜間の時間帯に学会大会開催を開催することとした。結果的に日本時間20時に開始し、25時前後までの連日5時間前後のプログラムとした。加えて、本部役員4名のうち、3名は本学教員であったが、残りの1名は学外者であったことから、和泉キャンパスを利用することが困難となったため、やむなく、学

外に学会大会本部を構えることとした。

2. 新宿のホテルに大会本部を構えた理由

本来、2020年9月に実施予定だった本学会大会では、学会本部役員（会長、副会長、事務局長、大会本部員）は和泉キャンパスから近い新宿のホテルに宿泊する予定であった。その後、コロナ禍による1年延長、更には、対面での開催を諦めオンライン形式で開催することとした。オンライン形式採用にあたり、本学会大会では、すべての招待講演および一般発表を録画し、学会大会終了後も学会大会ウェブサイトから全てのコンテンツをオンデマンド配信することとした。そのため、学会大会本部員が高速インターネット環境で大会運営をすることが不可欠となったことから、高速インターネット環境を求めて、本部員4名（本学教員3名：水村信二文学部専任教授、宮脇理奈文学部専任講師、針ヶ谷雅子経営学部兼任講師、学外者1名：富澤隆一郎日本山岳スポーツクライミング協会強化委員）が宿泊するホテルを新宿駅近くで数件下見した。その結果、大会本部諸条件（広さ、インターネット環境、換気能力、ホテルの協力体制）に最も適合したヒルトン東京ホテルのスイートルームを大会本部として利用することとした。

3. 大会本部の明大サテライトキャンパス化

学外に構えた本部であったが、本学広報課にご協力いただきいくつかの明大広報グッズを借用し、本部役員背後の壁に明治大学横断幕を設置するなど、参加者に明治大学がホスト校であることが意識できるよう工夫した(別紙写真参照)。また、本部役員の画像背景に、学会大会スポンサーの一つとして明大ロゴを表示した(別紙写真参照)。

コンテンツ：学長講演（1演題）、特別講演（4演題）、オリンピック報告（5演題）、日本からの特別報告（5演題）、一般発表（ライブ29演題、ビデオ10演題）の合計64演題のコンテンツを発信した。講演および報告のタイトルは以下の通りであった。**(発表タイトル日時については表2に記載)**

学長講演：大六野耕作学長「明治学における国際交流プログラム」

特別講演1：クライミングの医学

特別講演2：クライミングの生理学

特別講演3：クライミング研究の現場への適用

特別講演4：クライミング競技の東京オリンピックデビュー（小日向徹）

オリンピック報告1：日本チームヘッドコーチからみた東京オリンピック（安井博志）

オリンピック報告2：ドイツチームヘッドコーチからみた東京オリンピック

オリンピック報告3：ポーランドチームヘッドコーチからみた東京オリンピック

オリンピック報告4：金メダリストのパーソナルコーチからみた東京オリンピック

オリンピック報告5：メダルを獲得した日本人選手からのメッセージ（野口啓代）

日本からの特別報告1：プロクライマー平山ユージのクライミング活動（平山ユージ）

日本からの特別報告 2 : プロクライマー安間佐千のクライミング哲学 (安間佐千)

日本からの特別報告 3 : パラクライミング世界チャンピオンのクライミング活動 (小林幸一郎)

日本からの特別報告 4 : 野外活動からみたクライミング (針ヶ谷雅子)

日本からの特別報告 5 : 日本のクライミング強化における国体の重要性 (水村信二)

一般発表 (ライブ) : 29 演題

一般発表 (ビデオ) : 10 演題

成 果 物 : 時差の関係からリアルタイム参加できなかった参加者や、繰り返し講演や発表を視聴したい参加者のために、本学会大会ウェブサイトにて全ての招待講演及び一般発表の動画ファイルをアップロードし、2022年3月31日までオンデマンド視聴ができるようにしている。また、Congress book (pdf版、A4版 157 ページ) pdf版を作成し、参加者に配布した。

備 考 : 当初心配していた、インターネット環境不良による学会大会進行中断など発生することなく、4日間通して概ね順調に学会大会を運営することができたが、本学キャンパスからの配信ができなかったことから、細々とした備品や消耗品の準備が大変だった。

謝 辞 : 本学会実施にあたっては、明治大学国際連携事務室より親切なアドバイスをいただき、制限された環境においても国際学会大会を運営することができた。ここに深く感謝申し上げます。

以上

別紙（写真資料）

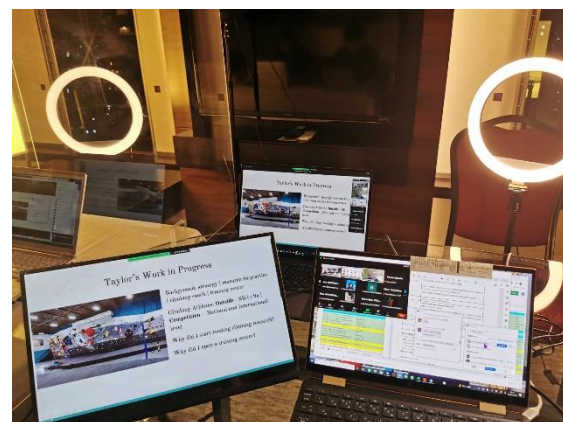
学会大会本部の様子（本部員は全員大会期間中本部設置ホテルに宿泊して学会大会業務に対応した）



（左から水村、宮脇、針ヶ谷）



（左から、宮脇、針ヶ谷、富澤）



学会大会開催中の PC 画面

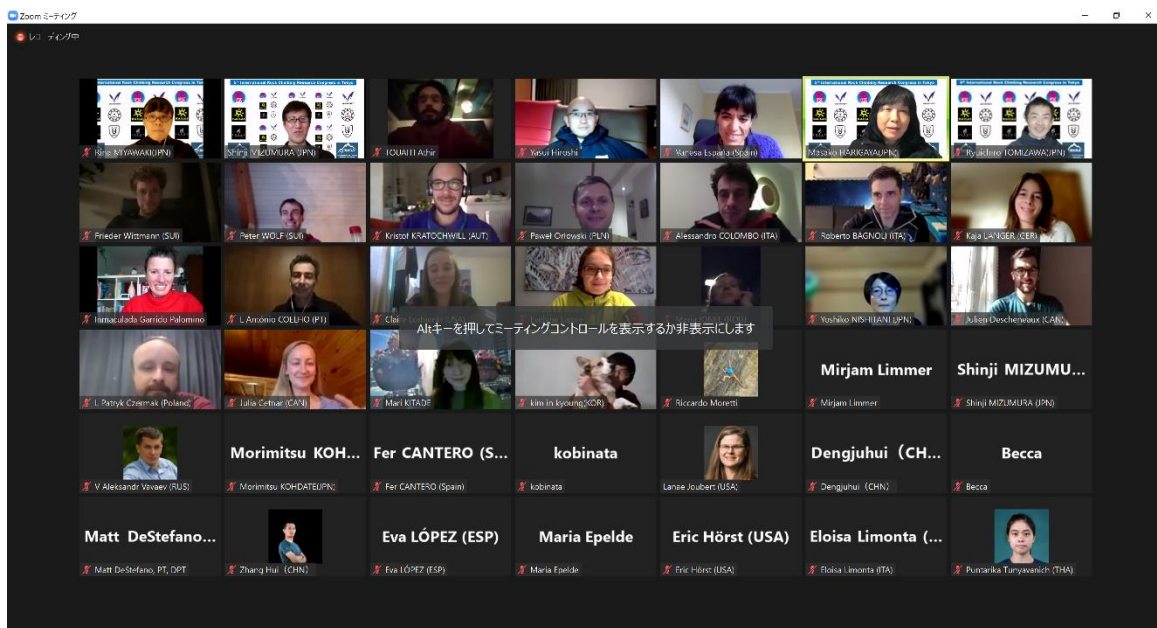


表 1. 居住国・地域別参加者数及び大陸別参加者数

Country	COUNT	Europe	Pan-Am	Asia	Africa	Oceania
Australia	1					1
Austria	1	1				
Belgium	2	2				
Brazil	2		2			
Canada	4		4			
CHINA	3			3		
Cyprus	1	1				
France	3	3				
Germany	5	5				
Italia	4	4				
Japan	15			15		
Malaysia	1			1		
Netherlands	1	1				
Poland	3	3				
Portugal	1	1				
Romania	2	2				
Russia	2	2				
Slovenia	1	1				
Spain	8	8				
Switzerland	8	8				
Taiwan	1			1		
Thailand	1			1		
Tunisia	2				2	
UK	1	1				
United States	17		17			
Total	90	43	23	21	2	1
Continental		Europe	Pan-Am	Asia	Oceania	Africa

表 2. 大会プログラム

Day 1(11th Nov)	
19:55-20:00	Zoom Open
20:00-20:10	Opening Remarks (5th IRCRA Congress Executive Board members)
20:10-20:15	Information to the participants (Shinji MIZUMURA)
20:15-20:35	Opening lecture (Kosaku DAIROKUNO, President of Meiji University, 20-minutes including Q&A)
20:35-21:10	Plenary lecture 1: Medical Science in Climbing (Volker SCHÖFFL, 30-min presentation, 5-min Q&A)
21:15-22:00	General Live presentation 1-1 (Three presentations, 10-minute presentation then 5-minute Q&A)
22:05-22:15	LUXOV demonstration 1: Speed touch solutions
22:15-22:45	Coffee break (30 min, Free conversation, several breakout rooms will be provided)
22:45-23:45	General Live presentation 1-2 (Four presentations, 10-minute presentation then 5-minute Q&A)
<u>23:50-24:30</u>	<u>Special report from Japan1 (Yuji HIRAYAMA, 30-minute report and 10-minute Q&A)</u>
24:30-25:00	Breakout sessions (Free conversation, several breakout rooms will be provided, Yuji will be there)
25:00	Closing
Day 2 (12th Nov)	
19:55-20:00	Zoom Open
20:00-20:05	Instruction to the participants
20:05-20:40	Plenary Lecture 2: Physiology in Climbing (Vanessa España-Romero, 30-min presentation then 5-min Q&A)
20:45-21:45	General Live Presentation 2-1 (Four presentations, 10-min presentation then 5-min Q&A)
21:50-22:00	LUXOV demonstration 2: Speed tracking solutions
22:00-22:20	Coffee break (20 minutes, you can view a few video presentations)
22:20-22:45	Q&A session 1 for Video Presentation chaired by Taylor (V01-V05, 5 minutes for each presenter)
22:50-23:50	General Live Presentation 2-2 (Four presentations, 10-minute presentation then 5-min Q&A)
<u>23:55-24:35</u>	<u>Special report from Japan 2 (Sachi AMMA, 30-min report and 10-min Q&A)</u>
24:35	Closing 1
24:35-25:05	Free talking with Sachi
25:05	Closing
Day 3 (13th Nov)	
19:55	Zoom Open
20:00-20:05	Instruction to the participants
20:05-20:40	Plenary Lecture 3: Application of climbing research to the Climbing field (Taylor Reed, 30-min the 5-min Q&A)
20:45-21:30	General Presentation 3.1 (Three presentations, 10-min presentation then 5-min Q&A)
21:35-21:45	LUXOV demonstration 3: Presentation of an interactive wall
21:45-22:05	Coffee break (20 minutes, you can view a few video presentations)
22:05-22:30	Q&A session 2 for Video Presentation chaired by Vanessa (V06-V10, 5 minutes for each presenter)

22:35-23:20	General Presentation 3.2 (Three presentations, 10-min presentation then 5-min Q&A)
<u>23:25-23:40</u>	<u>Special report from Japan 3.1: Climbing in Outdoor Education (Masako HARIGAYA, 10-min presentation+5-min Q&A)</u>
<u>23:45-24:25</u>	<u>Special report from Japan 3.2: Future Para-Climbing (Koichiro KOBAYASHI, 30-min then 10-min Q&A)</u>
24:25-24:35	Special report from Japan 3.3: Importance of National Sports Festival (Shinji MIZUMURA 10-min presentation+5-min Q&A)
24:35-25:05	Breakout sessions (Free conversation, several breakout rooms will be provided)
25:05	Closing
Day 4 (14th Nov)	
19:55	Zoom open
20:00-20:05	Instruction to the participants
<u>20:10-20:50</u>	<u>Plenary Lecture 4 (KOBINATA Toru, 30-min presentation then 10-min Q&A)</u>
20:55-21:55	General Presentation 4-1 (Four presentations, 10-min presentation, then 5-min Q&A) chaired by Frieder
22:00-23:00	General Presentation 4-2 (Four presentations, 10-min presentation then 5-min Q&A) chaired by Vanesa
23:05-23:15	SmartBoard demonstration
23:15-23:40	Coffee break (Free conversation several breakout rooms is provided)
23:40-25:05	Looking back to Tokyo Olympic Games (15-min presentation then 5-min Q&A in each presentation)
23:40-23:45	Introduction (Shinji)
<u>23:45-24:05</u>	<u>YASUI Hiroshi (JPN): Head Coach of Japan Olympic Team. He will also be in charge of the Team at the Paris Olympic Games.</u>
24:05-24:25	KRAJNIC Roman (SLO) : Personal Coach of Janja Gambret who is the very first Gold Medalist in Women Combined Discipline
24:25-24:45	MIROSLAW Mateusz (POL) : Personal Coach of Alexandra Mirosław and the National Coach of Polish Speed Climbing Team. Alexandra made the new World Record of Women's Speed Climbing at the Tokyo Olympic Games.
24:45-25:05	STOKER Urs (SUI) : Head Coach of German Olympic Team. He is from Switzerland.
25:05-25:10	Special message from Akiyo NOGUCHI (Bronze medalist in Female Combined event)
25:10-25:15	Information of the next Congress (Vanesa)
25:10-25:20	Official closing ceremony (Vanesa, Taylor & Shinji)
25:20- 25:50	After party (free conversation with some coffees, teas, beers, wines, Whiskeys, Vodkas, and others)
25:50	Final closing (See you at the 6th Congress venue!)

※青字記載は助成金から謝金を支払った講演者情報を示す。